

家畜衛生情報

畜産課 TEL(087)832-3426~8 FAX(087)806-0204
東部家畜保健衛生所
TEL(087)898-1121 FAX(087)898-9558
西部家畜保健衛生所
TEL(0877)62-0020 FAX(0877)62-3299

令和8年度 畜産施策の概要



本県の畜産の振興に格別のご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本年1月に県内で発生した鳥インフルエンザでは、関係各位のご協力による円滑な防疫対応により、2月3日午前0時をもって移動制限が、2月10日午後4時をもって監視強化区域が解除となり、全ての防疫作業を終了することができました。改めて、ご尽力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

家畜衛生分野においては、鳥インフルエンザが県内養鶏場で、令和4年度以降、4シーズン連続で発生し、地域の養鶏業界に大きな影響がありました。また、豚熱は県内全域で野生イノシシでの感染が確認されており、県内養豚場での発生が懸念されています。さらにアフリカ豚熱や口蹄疫は、中国や韓国を含むアジア地域に広く浸潤しており、国内侵入リスクが非常に高い状態が続いています。

このような状況の中、県では今年度も引き続き、発生を想定した防疫演習の実施や防疫資材の備蓄等を実施し、発生予防対策及びまん延防止対策を迅速に実施する体制を強化します。特に鳥インフルエンザについては、養鶏場への立入検査による指導を継続強化するとともに、昨年12月に大臣指定地域となった7市町内の農場における消毒薬の備蓄やドローンによる野鳥飛来対策等の追加対策、大規模農場の塵埃対策等の指導やため池対策にも取り組み、本県での発生リスクが最大限に低下するように努めます。

畜産農家の皆様も、引き続き飼養衛生管理基準の遵守と早期の異常通報を徹底し、家畜伝染病の発生予防、まん延防止に努めていただきますようお願いいたします。

一方、光熱水費や原材料価格の高騰など、厳しい畜産経営が迫られる中で、畜産物の高品質化や生産の効率化による経営体質の強化が必要であることから、従前の国が行う経営安定対策等への支援のほか、今年度から新たに、乳用牛の自家育成及び乳質改善への支援により収益力の更なる向上を図ります。また、オリーブ畜産物(オリーブ牛、オリーブ豚・オリーブ豚、オリーブ地鶏)など、県産畜産物の消費拡大・販売促進のためのイベントへの協力や、オリーブ牛の増頭・高品質化のための牛舎の増改築、高能力な繁殖雌牛の受精卵の活用などにも引き続き取り組みます。

また、輸入飼料価格の高騰が続くなか、耕畜連携マッチング等による堆肥を有効に利用する取り組みや飼料を栽培する機械導入への支援、さらに、飼料作物栽培技術向上のための施策を実施し、輸入飼料に依存しない国産飼料の安定的生産・供給が可能な体制を作ります。その他、人材確保対策として、本県畜産業において、貴重な労働力である外国人材の住環境改善を図るための施策を実施し、外国人材の確保と定着を図り、本県畜産業の持続的発展を目指します。

本年度も生産者の皆様や関係団体等と連携して、家畜防疫体制、生産基盤の強化や畜産物の販売促進・消費拡大などの各施策を総合的に推進していきます。

過去1週間以内に海外から入国した方の衛生管理区域への立ち入りについて

近隣諸国では、口蹄疫等の国内で発生していない家畜の病気が多く存在します。これらの病気の侵入を防ぐため、飼養衛生管理基準では、その日のうちに他の農場等の畜産関係施設に立ち入った方、過去1週間以内に海外から入国した方は、衛生管理区域に立ち入らせないようにし、やむを得ない場合は、シャワーによる身体の洗浄その他の必要な措置を講じることとされています。

基本的に、過去1週間以内に海外から入国した方は農場へ立ち入らせないようにし、農場で働く外国人が母国へ一時帰国し、再入国後に農場に戻る際など、どうしても必要な場合は、シャワーや着替え等の措置が取られていることを必ず確認してください。今一度、対策の徹底を確認し、農場の家畜を病気から守りましょう。

香川県畜産協会 畜産夏期大学 **畜産の危機を乗り越える!**

繁殖農家さんには…

- 1) 胸腺の大きな子牛を作るには
- 2) 子牛の下痢対策
- 3) 繁殖牛の受胎率向上対策 (特に夏季)

肥育農家さんには…

- 1) 子牛の能力の見極め方法
- 2) 産肉成績の向上のために

その他…

- 1) 飼養衛生管理基準の遵守ほか (養牛研修会)
- 2) 推奨されるワクチンプログラム
- 3) 農場HACCP活用例 etc…

2026 **7月23日(木)**

13:30~17:00

高松センタービル

12階 大ホール

<協賛>

香川県
香川県農業共済組合
香川県畜産会
香川県農業経営者協議会 畜産部会

「日本屈指の農場コンサルタント」として超有名な

松本大策先生のお話をぜひ聴きにきてください!

松本大策先生と、直々に
話せる「懇親会」もあります。
奮ってご参加ください。



講演会及び懇親会の

お申込み・お問合せ先は
公益社団法人 香川県畜産協会
伊賀・秋山・大谷・藤岡
TEL:087-825-0284
FAX:087-826-1098

**ネズミの防除について**

ペストコントロールフォーラムから



令和7年2月に滋賀県で開催されたペストコントロールフォーラムの中で、ネズミ・衛生害虫駆除研究協議会からのネズミ防除に関する情報を紹介します。

ネズミ駆除に先立って建物の「隙間」「配管」を注視し、ラットサインや監視カメラ、ファイバースコープ等で「証拠」を確認し、夜間の無人状態での調査が大切です。

○駆除のポイント(クマネズミは粘着シート、ドブネズミは殺鼠剤+シートが基本)

- 粘着シートを飛び越えるネズミも考慮し、シートは広範囲に敷き拡げる。また、張り付いたネズミは「コール」を発声するが、この時、他のネズミの好奇心による「見物」を誘い、連続捕獲ができることもある。
- 殺鼠剤成分によっては、摂取したネズミの目に内出血を起こし、光を求めて屋外で死ぬような効果があるが、屋根裏等で力尽きる場合も多い。
- 粉末の殺鼠剤はネズミの体毛に付着し、「毛づくろい」によって摂取させることができる。また、雌ネズミは巣作りためにタオル等を集めるので、殺鼠剤を布等に包んで仕掛ける方法も効果的。
- 殺鼠剤を飼料等に混ぜる場合はてんぷら油等の「油脂」を利用すると効果的。また、狭い通路を通る習性を利用して、パイプ等の中に仕掛ける方法もある。
- 畜舎等では「巣作り」され大量に増えても、大規模に連続で殺鼠剤対応すれば「全滅」させることは可能。ただし、そこで安心せずに継続することが肝要。

飼養衛生管理基準における大臣指定地域の考え方(鶏)



(大臣指定地域内の農場が講ずる措置)

大臣指定地域は、高病原性鳥インフルエンザ等が過去に複数事例発生しているなど家畜伝染病の発生及びまん延のリスクが高いと考えられる地域を農林水産大臣が指定したもので、令和8年1月1日から施行されました(観音寺市、三豊市、丸亀市、まんのう町他)。指定地域内の農場は、指定地域内での発生に備えた消毒薬の備蓄と必要な準備措置、農場周辺の野鳥の生息状況の把握と農場内への野鳥誘因防止対策を講ずることが定められています。発生に備えた準備措置とは、指定地域内での発生時に塵埃対策として入気口へのフィルター等の設置または消毒薬・水等の散布がすぐに実施できるように準備しておくこととされています。指定地域内の農場においては、発生防止のため引き続き基準遵守に努めるとともに、万が一発生があったときに迅速なまん延防止対策が図られるよう準備をよろしく願います。

⚠ 大臣指定地域の農場で実施する鳥インフルエンザ対策 ⚠

項目	実施時期	根拠	施行開始	鶏舎構造		備考
				ウインドレス	セミウインドレス・開放	
消毒準備	常時	飼養衛生管理基準	R8.1.1.~			消毒薬の備蓄
消毒実施	大臣指定地域での発生時	防疫指針	R7.10.1.~			家伝法第30条に基づき、県から地域内の農家に消毒命令
塵埃対策	大臣指定地域での発生時	防疫指針	R7.10.1.~	入気口フィルター設置等	消毒薬や水の散布等	ウインドレスのフィルター設置等で家きんの健康を害するおそれがある時は消毒薬や水の散布で代用可能
野鳥対策 (状況把握、誘因防止)	常時	飼養衛生管理基準	R8.1.1.~			農場周辺の野鳥の生息状況の把握と農場内への野鳥誘因防止対策
拡散防止準備 (塵埃排出対策)	発生農場となった場合	防疫指針	R7.10.1.~	排気口フィルター設置等(準備)		発生時、防疫措置前に迅速に実施可能となるよう県が指導

家畜伝染病・伝染性疾病発生状況(近県) R7.11月~R8.1月

	疾病名	畜種	発生場所	発生時期	発生延べ戸数	発生頭羽数 (蜜蜂は群数)
法定	高病原性鳥インフルエンザ	鶏	兵庫県、鳥取県、岡山県、香川県	R7.12~R8.1	5	10
届出	牛伝染性リンパ腫 (旧:牛白血病)	牛	兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県 山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	R7.11~R8.1	78	95
	サルモネラ症	牛	鳥取県	R7.11~12	2	5
	牛ウイルス性下痢	牛	鳥取県	R7.12	1	1
	ネオスポラ症	牛	愛媛県	R7.11	1	1
	アインウイルス感染症	牛	徳島県	R8.1	1	1
	豚丹毒	豚	兵庫県、島根県、広島県、香川県、愛媛県	R7.11~R8.1	7	11
	豚テシオウイルス性脳脊髄炎	豚	兵庫県	R8.1	1	1
	豚繁殖・呼吸障害症候群	豚	岡山県	R8.1	1	1
	鶏伝染性気管支炎	鶏	広島県	R7.11	1	5
	伝染性ファブリキウス嚢病	鶏	島根県、岡山県	R7.12~R8.1	3	10
	レプトスピラ症	犬	愛媛県	R7.6	1	1
	バロア症	蜜蜂	広島県	R7.12	1	10
	アカリング二症	蜜蜂	兵庫県、鳥取県、岡山県、山口県	R7.11~R8.1	8	8



お知らせ

○令和8年度 各飼養衛生管理研修会の日程について

- ・養牛研修会(香川県畜産協会 畜産夏期大学 第二部)

日時:令和8年7月23日(木)15時~15時30分

場所:高松センタービル(高松市寿町2丁目4番地20)

- ・養豚研修会(豚熱ワクチンの登録飼養衛生管理者研修と同時開催)

日時:令和8年6月9日(火)13時30分~17時

場所:JA 綾坂農業振興センター(綾歌郡綾川町陶4742-1)

- ・養鶏研修会

日時:令和8年7月7日(火)14時~16時

場所:アイレックス(丸亀市綾歌総合文化会館)(丸亀市綾歌町栗熊西1680)



○令和8年度香川県家畜人工授精師養成講習会について

<日時> 学科:令和8年7月22日(水)~令和8年8月5日(水)

実習:令和8年8月7日(金)~令和8年8月25日(火)

修業試験:令和8年8月26日(水)

※ただし、土日、祝日、7月23日、8月6日、13日~16日は休講。

<場所> 学科:香川県立農業大学校(琴平町)

実習:香川県畜産試験場(三木町)等

修業試験:香川県畜産試験場(三木町)

<受講料> 18,000円(香川県収入証紙) ※オンライン申請の場合、キャッシュレス決済。

<定員> 10名程度(県内在住者優先) ※定員に達した時点で締め切ります。

<申込期間> 令和8年5月上旬から約1カ月

※詳細は令和8年5月上旬に県のホームページにて掲載予定。



○「香川×岡山つながる食の大博覧会」について

瀬戸内の美味しいグルメが集まる「香川×岡山つながる食の大博覧会」に、香川のブランド畜産物であるオリーブ牛、オリーブ豚、オリーブ地鶏が出展します！精肉や加工品の販売に加え、ブースによっては試食も実施します。香川のオリーブが育んだ香川自慢のお肉をこの機会にぜひご賞味ください！

日時:令和8年5月30日(土)、31日(日)10時~16時

場所:サンメッセ香川(高松市林町 2217-1)

○第41回四国連合乳牛共進会の結果について

令和8年4月18日(土)に全農とくしま・上板畜産センターで第41回四国連合乳牛共進会が開催されました。香川県からは6頭が出品され、第10部(ホルスタイン雌経産牛生後60カ月以上)に出品した(有)古本農産(坂出市)のスターフィールド ヒンパル モビリオ バツフィーが優等賞1席及びベストアダー賞に選ばれました。

第10部(有)古本農産
優等賞1席及びベストアダー賞

